

<特色ある学校宣言文>

夢と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動する生徒の育成を目指し、地域とともに育つ学校づくり

所沢市立狭山ヶ丘中学校「学校だより」 — 令和6年3月 —

URL : <https://tokorozawa-sayamagaoka.edumap.jp/>



狭中だより

【学校教育目標】

『自立と共生』

校長 石原 健

全校朝会校長講話より

～講話冒頭のあいさつは省略～

「伝承と伝統」

来週の月曜日、3月11日は東日本大震災が起きて13年目の日になります。皆さんは実際に地震が起きた時の状況は覚えていないと思いますが、映像などで当時の状況を見聞きして被害の甚大さは知っているものと思います。皆さんも知っているように、能登半島でも1月に大きな地震があり2か月以上たった現在も水道やガス、電気が復旧していない地域が数多くあります。今回の能登半島地震では津波に対する避難など東日本大震災の教訓が生かされた点は数多くありますが、被害の状況を見ると地震災害への準備の難しさを感じます。是非、こういう機会を利用して自分自身そして家族で地震災害について考えたり緊急時の約束を作ったりと今できることをやっておくことが大切です。

先日、福島県にある東日本大震災・原子力災害伝承館という所に行ってきました。そこは福島第一原子力発電所で起きた事故について様々な角度から紹介し、事故を忘れさせないために作られた施設です。今日は地震災害や防災の話ではなく、先ほどの施設の名前にもある「伝承」という言葉についてお話したいと思います。漢字はこのようになります。

「伝承」に似た言葉に「伝統」という言葉があります。どちらかという「伝統」の方が馴染みがあると思います。伝承と伝統は似たような言葉ですが少し意味が違います。伝承とは、昔からあるものをそのまま引き継ぎ、守っていくこと。一方、伝統とは、昔から受け継いできたものをその時代にあわせ新たな考え方や技術を取り入れ、新しい価値を生み出し、受け伝えていくことです。

例えば、歌舞伎は日本の伝統芸能の一つで、江戸時代の頃からあったと言われています。昔からある演目をそのまま「伝承」してきたとしたら、とっくに歌舞伎は廃れていたのではないのでしょうか。しかし、歌舞伎役者や関係者がアレンジを加え、新しい価値を加え続けてきたことで、今も支持されているのだと思うのです。英語を使った歌舞伎を海外でおこなった役者さんもいました。「伝承」し続けているだけでは、こんなアイデアは生まれなかったと思います。

世の中には、先日私が見学に行った伝承館のように「昔からあるものをそのまま引き継ぎ、守っていくこと」が大切なこともあります。では、「狭山ヶ丘中の良さや特徴」はどうでしょうか。よく「狭中伝統の…」と表現しますが、それはいったいどんなものなのでしょう？イメージしてみてください。3年生の皆さん、過去を受け継ぎ君たちで作り上げたもの、言わば伝統を後輩たちにしっかり伝え卒業してってください。1、2年の皆さん、3年生を含めこれまでの先輩方が作り上げ残してくれたものを「そのまま受け継ぐ」と考えるのではなく、君たちなりにとらえ解釈し新しい価値を生み出し、作り上げていくということに挑戦してください。

「狭山ヶ丘中の良さや特徴」（言わば伝統）を3年生から伝え受け継ぐための日数もあと10日あまりとなりました。令和5年度、こうやって全校生徒にお話をするのも卒業式を残すのみとなりました。10日後の卒業式に向け、生徒一人一人が伝統と伝承を意識した学校生活にしていきましょう。